

講演会のご案内



講師 蓮池 薫 様

経歴

- ・一九五七年新潟県柏崎市生まれ。
- ・中央大学法学部三年在学中に拉致され、二十四年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。
- ・帰国後、一年間の市役所勤務を経て、新潟産業大学嘱託職員・非常勤講師として働くかわら、中央大学に復学。
- ・二〇〇五年には初の訳書『弧将』を刊行。
- ・二〇〇八年三月に中央大学卒業。
- ・二〇一三年三月 新潟大学大学院博士前期課程 修了。
- ・二〇一三年四月 現在 新潟産業大学経済学部 准教授。

訳書

『ハル 哲学する犬』『私たちの幸せな時間』『トガニ』など二十数冊。

著書

共著一冊を含め、五冊。うち二〇〇九年六月刊行の『半島へ、ふたたび』（新潮社）は新潮ドキュメント賞を受賞。二〇一二年十月に『拉致と決断』（新潮社）を刊行。

いつの日か 必ず会えると 信じては
声涙こらえ 心励ます
突然に 姿消したる 子を探し
歳星霜の 苦悩は続く
故郷を 引き離されて 数十年
親は子を待ち 子は親思う
この海の 向こうに同胞 居るといふ
近くて遠く 遙かな海原

(文責 浜口 澄子)

総会出席のご来賓方のご紹介

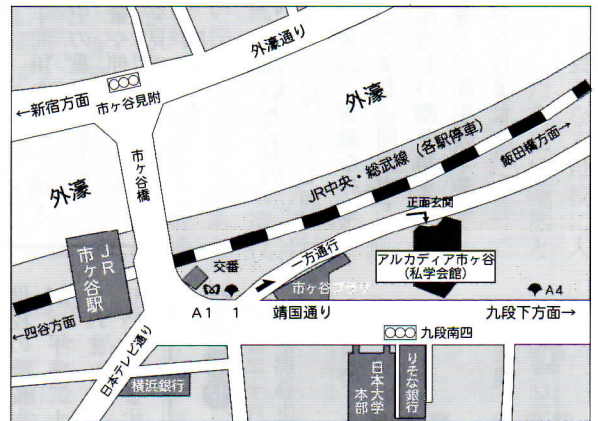
今年は二人の先生方がご出席くださいます。先生方を囲んで楽しいお話の輪を広げませんか。

●大森 清幸 校長先生

●上條 芳男 先生(教科・社会)
本校在職
昭和52年4月〜昭和62年3月

●同窓会長 小坂 博子氏
(高校十回)

※他弥生ヶ丘にゆかりのある方々



交通のご案内

- JR市ヶ谷駅 中央・総武線
- 東京メトロ (旧営団地下鉄)
市ヶ谷駅A1-1 出口 (有楽町線・南北線)
- 都営地下鉄
市ヶ谷A1-1 A4出口 (新宿線)

《平成25年度役員》

支 部 長	濱口 澄子 (高16)
副 支 部 長	保科 芳子 (高16)
会 計 記 事	亀田 早紀子 (高17)
	田中 千代子 (高17)
	北原 秀子 (高22)
	金刀 由 (高29)
	加藤 幸人 (高35)
	水越 和子 (高28)
	佐々木 やす子 (高31)
	安藤 由美子 (高24) (名簿担当)
	清水 弘子 (高30) (名簿担当)
	大山 伸子 (高29) (庶務担当)
内藤 桂子 (高31) (庶務担当)	
小島 博 (高35) (会報担当)	
大槻 順子 (高30) (発送担当)	
園田 弘子 (高30) (発送担当)	
大前 恵子 (高28) (総会担当)	
片桐 聡 (高35) (総会担当)	
伊藤 勉 (高34)	
鈴木 芳春 (高34)	
会 計 監 査	

編集後記

異常気象による大雪、関東地方でもかまくらが作れるほどでした。卒業以来、ご無沙汰していた先生方と久しぶりにお話ししたり、お目にかかった事がない先生に手紙を書いたり、色々と貴重な体験をさせていただきました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。総会でも多くの皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。